

子ども等への意見聴取について

1 実施期間

令和6年12月

2 実施内容

(1) 学童に通う子どもへのグループヒアリング

東奥戸学童保育クラブ、東堀切学童保育クラブ、青戸中央学童保育クラブ、花の木学童保育クラブを利用する主に小学1年生から4年生を対象に実施した。

ア グループヒアリングのテーマ

(ア) 「放課後や休みの日に過ごしている場所について、どこが一番好きな場所ですか？どうして、その場所が好きですか？」

(イ) 「いつも居る場所が、もっと落ち着いて、安心できる場所になるためには、どんなことがあったらいいと思いますか？」

イ グループヒアリングの方法

各学童保育クラブにて、1グループ当たり2～4人の合計16グループ(合計54人)にヒアリングを行う。

ウ グループヒアリングでの主な意見

別紙のとおり

(2) 子どもたちと区長の意見交換会

葛飾区立梅田小学校(以下「梅田小」という。)及び葛飾区立白鳥小学校(以下「白鳥小」という。)の小学5年生を対象に、子どもたちが葛飾区子ども・若者総合計画の概要などを事前学習した上で、区長と意見交換会を実施した。

ア 梅田小

(ア) 意見交換会のテーマ

「子どもたちのために区ができることってなんだろう？」

(イ) 意見交換の方法

クラスの代表者合計17人が、合計10件(うち7件は、同様の趣旨の意見)の意見について、区長と意見交換を行う。

(ウ) 意見交換会での主な意見

別紙のとおり

イ 白鳥小

(ア) 意見交換会のテーマ

「葛飾区のいいところ、変わってほしいところって何がある？」

(イ) 意見交換の方法

クラスごとに班を作り合計 22 班が、葛飾区のいいところ又は変わってほしいところ合計 19 件（うち 3 件は、同様の趣旨の意見）の意見について、区長と意見交換を行う。

(ウ) 意見交換会での主な意見

別紙のとおり

(3) 子ども食堂に通う子どもへのヒアリング

子ども食堂を運営する地域活動団体と協力し、子ども食堂に通う高校生及び小学生を対象に実施した。

ア ヒアリングのテーマ

(ア) 「いつも過ごしている場所はどこですか？どんな居場所があると嬉しいですか？」

(イ) 「どういった相談先があると良いと思いますか？」

イ ヒアリングの方法

子ども食堂等にて、本人・保護者より協力が得られた 2 人にヒアリングを行う。

ウ ヒアリングでの主な意見

別紙のとおり

(4) 関係団体との意見交換会

かつしか子育てネットワーク、かつしか子ども・若者応援ネットワーク、かつしか子ども食堂・居場所づくりネットワークの代表者を対象に、葛飾区子ども・若者総合計画について意見交換会を実施した。

ア 意見交換会のテーマ

「葛飾区子ども・若者総合計画に対する意見交換会」

イ 意見交換会の方法

3つのネットワークの代表者数名と葛飾区子ども・若者総合計画について、意見交換を行う。

ウ 意見交換会での主な意見

別紙のとおり

3 意見聴取の結果から葛飾区子ども・若者総合計画（案）に反映した内容

(1) 学習支援事業の事業概要（基本方針 2 施策② P 120）

(2) 不登校対策プロジェクトの取組の方向性（基本方針 2 施策③ P 132）

(3) 公園再生事業（基本方針 3 施策① P 150 ほか）

(4) 街路灯整備事業（基本方針 4 施策③ P 183 ほか）

(5) 私道防犯灯助成事業（基本方針 4 施策③ P 183 ほか）

- (6) 地域の身近な公園の整備（基本方針5 施策②P 199 ほか）
- (7) 特色のある公園の整備（基本方針5 施策②P 200 ほか）
- (8) 校庭遊び場開放事業（基本方針5 施策②P 200 ほか）

子ども等への意見聴取における主な意見について

1 学童に通う子どもへのグループヒアリングでの主な意見

(1) 放課後や休みの日に過ごしている場所について、どこが一番好きな場所ですか？ どうして、その場所が好きですか？

- ア 家 延べ 33 件
- イ 公園 延べ 30 件
- ウ 学校 延べ 18 件
- エ 児童館 延べ 18 件
- オ 学童 延べ 13 件
- カ プール 延べ 10 件

※同一人物から複数の意見があるため、延べ回答数としています。

※今回のヒアリングが、学童在籍児童を対象にヒアリングしたため、学童について多くの意見が出た可能性があり、留意が必要です。

(2) いつも居る場所が、もっと落ち着いて、安心できる場所になるためには、どんなことがあったらいいと思いますか？

- ア ボール遊びができる場所
- イ アスレチックがいっぱいある公園がほしい
- ウ 広くて遊具がいっぱいある公園
- エ 転んだときに痛くない地面の公園
- オ 急に雨が降った時のために屋根がついている公園
- カ 学校に避難所があったら安心する
- キ 学校の校庭がもっと広がってほしい
- ク 学校で 20 分休みをもっと長くしてほしい
- ケ 学校の給食を牛乳の代わりに、ジュースを出してほしい
- コ 学校の相談室をいつも開けてほしい
- サ 給食に毎日デザートを出してほしい
- シ 家に自室がほしい
- ス 家をもっと丈夫になってほしい
- セ 家の部屋に本がもっとほしい
- ソ 児童館の遊び道具を増やしてほしい
- タ 学童が広くなったらいい

※同一人物から複数の意見があるため、延べ回答数としています。

2 子どもたちと区長の意見交換会での主な意見

(1) 梅田小

- ア 街灯を増やしてほしい
- イ 道路の安全について
- ウ 公園や遊べる施設について
- エ 公園の改善したいところについて
- オ 地区センターを増やしてほしい
- カ 誰でも楽しめる施設について
- キ 室内で思いきり遊べる施設がほしい
- ク ラーケーションの制度について
- ケ 病院を増やしてほしい
- コ ふるさと納税の返礼品の充実について

(2) 白鳥小

- ア 葛飾区のいいところ
 - (ア) 公園が多いところ
 - (イ) 公園などに自然が多い
 - (ウ) 公園のいいところについて
 - (エ) 色々なイベントがあるところ
 - (オ) イベントや祭りの良さについて
 - (カ) 区の施設が充実しているところ
 - (キ) 安心安全なところ
 - (ク) 便利で住みやすいところについて
- イ 葛飾区の変わってほしいところ
 - (ア) 公園の遊具を増やしてほしい
 - (イ) 公園のボール遊びについて
 - (ウ) 公園の改善したいところについて
 - (エ) イベントを増やしてほしい
 - (オ) タブレットの見直しについて
 - (カ) 公共施設をもっと良くしてほしい
 - (キ) 区内の交通を改善してほしい
 - (ク) 子どもの居場所を改善してほしい
 - (ケ) 交通安全、防犯について

3 子ども食堂に通う子どもへのヒアリングでの主な意見

(1) いつも過ごしている場所はどこですか？

- ア 家
- イ 学校
- ウ 図書館
- エ 子ども食堂

- (2) どんな居場所があると嬉しいですか？
- ア 落ち着いた空間で読書ができる場所があると嬉しい
 - イ 楽器が弾ける場所があると嬉しい
 - ウ スケートボードができる場所があると嬉しい
 - エ もっと勉強ができるよう、図書館に中高生ルームがあると嬉しい
 - オ 体育館をもっと利用したい
- (3) どういった相談先があると良いと思いますか？
- ア 対面形式での相談先
 - イ 家族には聞かれない話もあるため、オンラインよりも会って相談したい

4 関係団体へのヒアリングでの主な意見

- (1) 学習支援事業については、学習のほかにも悩みや困りごとを抱えている子どもの見守り等を学校や関係機関と連携していくべきである。
- (2) 不登校対策プロジェクトの取組の方向性について、未然防止だけでなく、不登校児童・生徒への支援を追加してほしい。
- (3) 校内サポートルーム等は、支援する側の人数が足りない中では、子どもの気持ちを尊重するのも難しくなってくる。必要な人材が適切に配置されるような予算採りや仕組みの整備を実施してほしい。
- (4) プレコンセプションケアと合わせて性教育を充実させてほしい。
- (5) 不登校やひきこもりの子ども・若者を持つ保護者同士が、つながり合う機会や安心して語り合える場の提供等の保護者への支援も必要ではないか。
- (6) 様々な課題を抱えている子ども・若者を支援する事業を実施していく上では、保護者についても課題を抱えていることがあるため、保護者への支援も併せて行っていく必要ではないか。
- (7) 家庭や社会からのニーズが多様化しており、教員の負担も増えている。そのため、教員やスクールサポートスタッフの確保など、教育環境を整えてほしい。
- (8) 子どもの貧困対策として、学校給食のない長期休暇中における支援が必要ではないか。
- (9) 要保護児童対策地域協議会の個別ケース検討会について、地域との協働という観点から、関係性のある地域活動団体が参加するといった点も考えてほしい。
- (10) 子どもの権利については学校で教えるのが一番良いのではないか。
- (11) 子ども自身が、子どもの権利について、知識を持って話し合う機会があるとよい。